

**令和3年度草の根・人間の安全保障無償資金協力
「ジェラシュ・パレスチナ難民キャンプ内コミュニティセンター設立のための建物改築計画」
完工式典**

2023年3月20日、日本政府の草の根・人間の安全保障無償資金協力の枠組みにより実施された「ジェラシュ・パレスチナ難民キャンプ内コミュニティセンター設立のための建物改築計画」の完工式典が実施され、奥山駐ヨルダン大使が出席しました。

本計画は、1978年の設立以来、パレスチナ難民キャンプにおいて心理ケアや子供の健康等多岐に亘る支援を提供してきた「ユナイテッド・パレスチニアン・アピール（UPA）」に対して、ヨルダンに存在するパレスチナ難民キャンプのうち、最も貧しいキャンプとされているジェラシュ・パレスチナ難民キャンプ内に所有する居住用建物を改修することにより、難民キャンプの幅広いニーズを満たすアクティビティの実施、社会交流の場の創出が可能となり、パレスチナ難民の経済社会活動や文化的生活の向上を促進することを目的としています。

同式典には、団体職員・関係者が出席し、ティナ・バジェック同団体ドナー・エンゲージメント担当シニアディレクターからは、日本の支援に対する感謝の言葉が述べられました。奥山大使からは、本支援がジェラシュ・パレスチナ難民キャンプが抱えている多数の課題を解決し、パレスチナ難民の生活状況の改善に資することを期待する旨述べました。

日本政府は、1993年以降、草の根・人間の安全保障無償資金協力により、ヨルダン国内のNGO、学校、病院及び地方自治体に対して、累計157件、総額1,000万ドル以上の支援を行っています。



